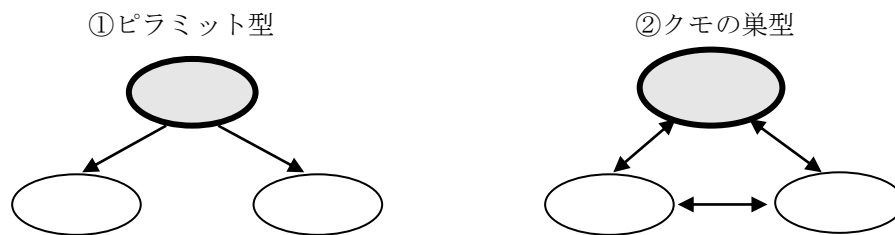


危機時と日常時の政策的切り替えスイッチ

新型コロナウイルスの感染拡大に対する政策的対応において、官民を問わず政策判断に対するリーダーシップのあり方が議論となっている。リーダーとは、一定の集団や組織における立場や位置づけであり、リーダーシップは、リーダーとしての位置づけに求められる機能たる「統率力」をどれだけ発揮できているかの問題である。したがって、リーダーとしての位置づけ自体がリーダーシップの機能を担保するものではなく、逆にリーダーシップの機能はリーダーとしての位置づけを必然とはしない。しかし、国や地方自治体、企業等民間組織を問わず安定的にリーダーシップを展開するには、まず正当な根拠によってリーダーとしての地位に選ばれたことが必要であり、国や地方自治体であれば選挙による当選がこのことを担保する。しかし、それだけでは、リーダーシップは発揮されない。発揮には、集団への統率力を支えるネットワークの形成が不可欠となる。

リーダーシップの発揮に求められる統率力の形態、すなわち集団への統率力を発揮するネットワークの形態は、大きく二つに分かれる。第1はピラミット型の垂直形態であり、第2はクモの巣型の水平形態のネットワークである。前者のピラミット型の場合は、ネットワークを形成する主体間の情報は一方通行、すなわち上位下達の命令型で展開され、そこでの文脈は明確な単一性が求められる。これに対して第2のクモの巣型は、相互に情報が共有されるコンセプトの形成による合意型で展開され、そこで求められる文脈は多くの利害を調整した多重性が基本となる。



	ピラミット型	クモの巣型
姿勢と文脈	指揮命令、明確単一性	コンセプト共有、多重性
活動	監視・レビュー	説明・プレゼン
行動規範	率先・圧力	後盾・助力
主な適用場面	危機時	日常時
権限の基本構図	集権	分権
リーダーシップの位置	前からの機関車型	後からの巻き込み型
フォロワーの一体感	服従	共感

危機時と日常時の社会システムにおいて重要なことは、①ピラミット型と②クモの巣型のスイッチの切り替えを適切に機能させる仕組みを組み立てられるかにある。民主主義国家では、日常時はコンセプトの共有を基礎に、共感をもって国や地域社会を形成するクモの巣型が基本であり、そこでは分権と説明が重要となる。これに対して、危機時にはピラミット型の指揮命令と服従を基礎とした集権構図が求められる。問題となるのは、両者のスイッチの切り替えを行うメカニズムをいかに持つかにある。危機時のピラミット型において不明確かつ単一性のない文脈を政策提示すれば混乱が生じ、日常時のクモの巣型でコンセプト共有に基づかない指揮命令型の文脈を政策提示すれば、民主主義としての信頼性を確保することはできない。